

錦織圭が庭球全米決勝で負けた理由＝日本人が勝つ条件は非日本人化。2013/9/9

(1)歌手故シナトラ親分<歌唱力抜群イタリ-系米人、ケネディ家やマフィアとの繋がりも>は伊達男条件として ABCD だと言うのを思い出した。A=atmosphere=雰囲気、ムード ;B=back =背中、男の後ろ姿 ; C=cool =冷静、冷酷 ; D=dry=非情、問題はその C-D、ほぼ同じ内容を強調する点が注目されるでないか。CD は義理人情緊張体質日本人の向こう側にあるでないか、勝負場面で緊張は日本人文化そのものである。

然るに敗戦後の圭の記者会見では

試合後の会見では「ここまで硬くなったのは久しぶり。試合に入り込めなかった」などと、冷静に敗因を自己分析した。

(2)決勝では彼は日本人に戻ってしまったのだ！！。

勝負は冷徹論理。冷静冷徹とは他人ではなく、己に対しての非情＝？

*テニス特徴はラケット制御の微妙な精度しだいで、無用な緊張は判断と制御精度を下げる。

だから決勝戦前の圭は C-D 状態であり、非日本人状態だから勝てたのだ。

*このビデオ等ではまったく日本人の匂いがまったく無い状況だ、

<https://www.youtube.com/watch?v=HgN5YtDy1Rs>

準決勝突破後の日本の騒動ぶり(非 CD)は異常だった、過剰負担がこそが緊張を要求、隠れた敗因??!!!、これはあのWカップ前の日本サッカーと同じでないか!!!!

(3)指導者の重要性。

コーチ＝現役時代のマイケル.チャンはスキルは無論、メンタルで抜群だった。

史上最年少 17 才、小柄ながらで全仏チャンピオン(1989)だったのだから技術は抜群、だがそれだけでは勝てないだろう。当時筆者観察ではメンタル強さが強烈印象だった。

<https://www.youtube.com/watch?v=8uAelr2GHBk>

彼がコーチ着任後<昨年末>に錦織の急成長が見られと言われる。指導者の重要性が判る。